

見どころ案内

ミヤコワスレ (キク科)

次々と花が咲いています。春に咲く数少ない野菊の一つです。

エビネ (ラン科)

香りのある様々な色の花が咲いています。

サボテンの花

色々なサボテンが咲き始めています。夕方には閉じてしまうものもありますので、お見逃しのないように御覧ください。

マムシグサの仲間

(サトイモ科)

ユキモチソウやテンナンショウなどマムシグサの仲間の花が咲いています。

ハマナス (バラ科)

ハマナシとも言います。皇太子妃雅子さまのお印として有名です。

ポポー (バンレイシ科)

釣鐘形の花が咲いています。褐色の花で目立ちにくいのでお見逃しなく。

春の洋ラン展

～5月3日(木・祝)。(展示温室)
春咲きの洋ランをおよそ150鉢展示しています。

シャクナゲ (ツツジ科)

遅咲きのキョウマルシャクナゲが咲き始めています。

祝！大温室 リニューアル オープン

日本一のバオバブ、植物を間近で見られる空中デッキ、巨大コンニャクの並木など館内を一新しました。

ハナミズキ (ミズキ科)

白の品種が咲いています。紅の品種は終盤です。

クレマチス展

～5月6日(日)(屋外展示場)
日本クレマチス協会広島支部の会員が育てたクレマチスの大輪系品種や原種などを展示しています。

ヒトツバタゴ (モクセイ科)

木曾川流域と対馬以外で見かけることが少ないため、何の木か分からないことから、別名ナンジャモンジャ。白い小さな花を咲かせます。

ポピー (ケシ科)

雛罌粟(ひなげし)、虞美人草(ぐびじんそう)とも呼ばれ、様々な色があります。

ハクサンボク

(レンプクソウ科)

星をちりばめたような小さな白い花を咲かせています。花には独特な臭いがあります。

ハンカチノキ (ヌマミズキ科)

中国原産の落葉高木。包葉ほうようが垂れて白色になっています。本当にハンカチのように見えます。

おし花美術作品展

～5月6日(展示資料館)
四季折々の植物を素材として、季節ごとの情景を描いたおし花作品を展示します。1階ロビーでは、植物公園42年のあゆみ展も開催中です。

